

## 事務事業評価における総括

部 局 名	会計課	記入責任者	竹内 一郎
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>会計課の業務計画に位置づけた事業では、8事業のうち5事業で指標を達成しS評価とすることから概ね順調に進捗しています。しかし、目標を達成できず「B」評価としたものが1事業、「C」評価としたものが1事業、「E」評価としたものが1事業であることから政策・施策目標の達成に向け、事業手法の見直しを行う必要があります。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>「B」評価とした「財務会計システムの研修事務」については、関係課かいと連携した計画的な取組みにより目標値は達成できましたが、今後継続的・効果的に研修を行い成果をあげる必要があります。</p> <p>「支出負担行為及び支出命令の審査事務」については、財務事務の習得が不十分であること、課内体制の整備や十分な審査時間を確保できなかった事等により「C」評価ですが、課内研修や財務研修による職員全体のスキルアップが必要です。</p> <p>「E」評価の「公金の管理・運用」については、経済情勢の影響を受け市場の金利が低水準であることから、目標を達成することが難しい一面があると考えます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>会計課は事業の性質が定例的な事業であるため、日々適正に業務を遂行することが使命であります。</p> <p>資金運用については、経済情勢の影響を受けるが様々な観点から安全かつ効果的な運用方法の検討を行います。あわせて、各課からの正確な収支予定を報告させ、資金計画の精度をあげることで、残高不足がないよう運用原資の確保を行います。</p> <p>また、会計事務のより適正な事務を推進するには、全職員一人ひとりの財務事務の向上を図る必要があることから研修内容や時期、対象の改善を行います。</p>			